



Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階
TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554
HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 大瀧一喜 幹事 佐々木 智 創立 : 1988年9月21日

「英国のEU離脱を巡る英国政治を見て日本の政治を考える」

前駐英特命全権大使 鶴岡 公二 氏

私は2016年6月に駐英大使としてロンドンに赴任しました。6月23日に英国のEU離脱の是非を問う国民投票が行われ離脱が選択されました。2019年11月末に離任するまで私は英国のEU離脱に翻弄されました。1000社以上の日本企業が活動する英国で日本企業の利益を守り日英関係を強化する課題に取り組む中で混乱する英国政治を目の当たりにし多くを学び多くを考えました。



私のロンドン滞在中の三年半弱の間に英国は二度の総選挙を行い、首相が交替しました。

議会政治の母国である英国政治の最近の動きを振り返りたいと思います。

その間、米国ではトランプ政権が成立し、成長した中国の国際的な活動が積極化するなど国際情勢も変革期を迎えています。民主主義の発祥の国である英国の政治の動きを見ながら日本への教訓を考えてみたいと思います。日本と英国は皇室、王室、議院内閣制、市場経済、自由貿易そして法の支配を共有し、法に基づく秩序を基本とする国際秩序を支持しそのもとで発展してきました。日英関係は日本外交の重要な資産です。9月中旬に日英は自由貿易協定案の基本合意に至りました。今後の英国のEUとの関係を検討しつつ日英経済関係や日英連携の下でいかなる外交を展開していくべきか考えたいと思います。

鶴岡 公二

1976年外務省入省。在ソ連及び在米大使館勤務を経て1991年よりウルグアイラウンドサービス交渉首席交渉官。1994年条約局法規課長、1996年北米二課長、1998年北米一課長。2000年在インドネシア大使館公使。2002年政策研究大学院大学教授、2003年外務大臣官房参事官、2006年地球規模課題審議官、2008年国際法局長、2010年年総合外交政策局長、2012年外務審議官、2013年TPP交渉政府代表首席交渉官、2016年駐英大使、2019年退官。この間、国連総会への日本政府代表代理、G8及びG20の首脳個人代表などを歴任。東大法学部卒。

第1473回例会 10月21日(水)

「英国のEU離脱を巡る英国政治を見て
日本の政治を考える」

前駐英特命全権大使 鶴岡 公二 氏
(紹介者 浅利 隆文会員)

次回のプログラム

第1474回例会 11月4日(水)

「希望の風奨学金について」御礼とお願い」
地区ロータリー希望の風委員長 池永 憲明 氏
(紹介者 佐原 旦朗会員)